



平成 28 年 8 月 8 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 辻 鶴男
 (TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	66,800	2,300	1,900	1,100	42.56
今回発表予想 (B)	66,200	3,050	2,650	1,650	63.84
増減額 (B-A)	△600	750	750	550	
増減率 (%)	△0.9	32.6	39.5	50.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	72,206	1,819	1,236	872	33.77

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	136,000	5,500	4,700	3,100	119.94
今回発表予想 (B)	134,400	6,000	5,200	3,750	145.09
増減額 (B-A)	△1,600	500	500	650	
増減率 (%)	△1.2	9.1	10.6	21.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	144,451	5,385	4,077	3,062	118.50

修正の理由

ダイカスト事業の国内、米国、中国における販売量は当初予想通りの水準又は増加が見込まれる一方で、メキシコ及びインドでは減少することが見込まれます。また、地金市況による売上高の減少影響及び想定為替レートの変更影響を加味すると、売上高は国内が当初予想通りですが、北米及びアジアが減少し連結売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面では、原価低減及び販売量増による効果等により、連結の利益は当初予想を上回る見込みです。なお、投資有価証券の一部売却等の固定資産の売却による特別利益 5 億円程度を下期に計上する見込みであることを加味しております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	63,900	63,900	—	2,300	2,450	150
ダイカスト事業 北米	39,400	38,600	△800	2,200	2,250	50
ダイカスト事業 アジア	26,200	25,400	△800	700	1,000	300
アルミニウム事業	4,300	4,300	—	200	200	—
完成品事業	2,200	2,200	—	100	100	—

為替レート的前提（第2四半期以降）：105円/米ドル、16.0円/元、1.6円/インドルピー

（前回予想：110円/米ドル、17.0円/元、1.7円/インドルピー）

以上